

新規事業評価調書

【県単独土砂災害対策事業】

下松尾谷川

県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 (主幹 (防災担当) 小倉正大)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地 補償費	着手予定 年度	完了予定 年度
砂防 事業	県単独土砂災害対策事業 しもまつおたに 下松尾谷川	朝来市 たたらぎ 多々良木	2.0 億円	0.1 億円	平成 29 年度	平成 31 年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、土石流発生の危険性が高いことから、土砂災害警戒区域となっており、保全対象は人家 10 戸、市道がある。そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第 2 次山地防災・土砂災害対策 5 箇年計画 (H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>砂防えん堤工 1 基 (高さ 10.0m, 延長 50.0m)</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①下松尾川は、(一)円山川水系多々良木川に流入する土石流発生の危険性が高い溪流(JR播但線新井駅より北東へ約2.6km)である。</p> <p>②近年の降雨により溪岸の侵食が進み、倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。</p> <p>③溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性 ・ 効率性 (執行環境状況)	<p>①警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>②地元要望が強く、工事用進入路の確保など、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	①地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。					
(4) 優先性	①保全対象には人家10戸があるほか、市道がある。また、溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					

まるやま しもまつおたに あさご たたらぎ
 (一)円山川水系 下松尾谷川 県単独土砂災害対策事業 (朝来市多々良木)

- 現状の危険性: 転石や倒木等が多く、流域の荒廃が著しいため、今後の降雨で土石流の発生により
 人家、市道等に被害のおそれがある。
- 保全対象: 人家10戸、市道
- 全体事業費: 200百万円 (H29~H31)

